



SSKP

万葉の里

通巻 068 号
令和2年新春号

編集

〒185-0024
国分寺市泉町2-3-8
社会福祉法人万葉の里
国分寺市障害者センター
Tel:042-321-1212
Fax:042-321-1207

<http://manyunosato.or.jp>



↑↑↑↑↑↑↑↑↑↑↑↑
QRコードを読み取って
いただくと、万葉の里
ホームページがご覧い
ただけます!

「KOCO・シヤムから未来へ」

理事長 古橋 耕二郎

新年おめでとございいます。
令和最初の元旦を迎え、皆さ
まのご健康とご多幸をお祈りい
たします。

このあいだ、嬉しいことがあ
りました。国分寺市障害者セン
ターの管理者が、KOCO・シヤ
ムの生活介護事業この里へ移行
したご利用者について、「これ
まで、「意思決定支援」におい
て、「合理的配慮」が足りなかつ
たかもしれない」とぼつりと言っ
たのです。

平成30年、万葉の里は、法人
所有の建築物としてKOCO・
シヤムを開設しました。既に、
指定管理者として運営する障害
者センターには、生活介護事業
太陽があります。さらに、多く
の方にご利用いただきたい想
いで、KOCO・シヤムにも、生
活介護事業この里を開設しまし

た。この里は、「働く」を通
して、自分らしい生活を創る」
をコンセプトに、ご利用者が、
地域の一員としての役割を一層
果たせる事業運営をしています。
一方、太陽は、「より支援が必
要な方にご利用いただく生活の
場」との性格を明確に打ち出し
て、医療的なケアが必要な方な
どへのより柔軟な対応を行うと
し、事業所双方のサービス内容
の差異化を図りました。

このように、同一法人が両事
業を行うため、ご利用者にとっ
て、どの職員も顔見知りで安心
であり、職員のチーム連携もス
ムーズなこともあって、どちら
かを選択しやすい環境になった
と思います。また、自分で体験
してみて、「ここに通いたい、
〇〇したい」と選択できる選択
肢を増やすことこそが、障害者
の権利条約における「合理的配
慮」であり、「意思決定支援」
の基本ではないかと考えます。
二つの異なる生活介護事業があ

ることで、管理者はじめ、職員
がそのように実感できる環境が
整備され、ご利用者の選択肢も
増え、また「一法人一施設は好
ましくない」という従来からの
課題にも対応できたことは、二
重三重に喜ばしいことです。

ここで、当法人の経営上の話
も少々します。KOCO・シヤ
ムの開設にあたり、法人理事か
ら、「理事の責任として、経済
的な負担が生じることはないの
か」と質問を受けました。これ
は、理事の皆さまが、法人の現
況を敏感に捉えておられる証左
であり、当然の質問であると受
け止めました。これまでは、明
確な回答が難しかったのですが
今は、「不測事態の担保として、
相應の資産を持った」と回答す
ることができ、安心して理事に
就任いただけていることも、有
難いことです。

先の社会福祉法人制度改革に
伴い、社会福祉法人の在り方に
かわる諸課題、経営組織の方

バナンス強化、地域における公
益的な取組などが指摘されてい
ますが、障害者センターを管理
する社会福祉法人万葉の里も、
これらの状況・課題の波から逃
れることはできません。極論か
ら言うと、現社会福祉制度（契
約制度）においては、公益性の
最も高い社会福祉法人といえど
も、アドバンテージ・マトリッ
クス（競争優位性を築く要因一
変数）を見極めないと、いずれ
存在意義が失われることを覚悟
しなければならなくなります。

先日、国分寺市社会福祉協議
会が中心となって、国分寺市社
会福祉法人連絡会が発足しまし
た。これも市内で事業を行う社
会福祉法人が協力することによっ
て、さまざまな課題に対応して
いこうという一つの試みです。

当然、万葉の里も全面的に協
力します。障害福祉事業を行う
万葉の里としては、今後、国分
寺市において、障害者センター
とKOCO・シヤムを、地域生
活支援拠点の二核として、市内
の社会福祉法人が手を携えてい
けることを願ってやみません。

万葉の冬

このページでは、万葉の『春』・『夏』・『秋』・『冬』と題して、社会福祉法人万葉の里で季節ごとのお知らせや、実施した活動や取組みをお伝えします。

1月

- *生活介護事業太陽 成人を祝う会 (15日)
- *地域活動支援センターつばさ おしゃべりナイト (16日)
- 健康吹き矢 (18日)
- 夕日かがやき事業WRAP (25日)
- 市民福祉講座 (26日)
- *生活介護事業この里 1日外出 (八王子散策&食事)

2月

- *地域活動支援センターつばさ 健康吹き矢 (15日)
- おしゃべりナイト (20日)
- 夕日かがやき事業WRAP (22日)
- 市民福祉講座 (29日)
- *自立訓練はばたき はばたきOB会 (17,19,21日)
- *生活介護事業この里 けやきスポーツセンター外出

3月

- *生活介護事業太陽 納め会・ボランティア感謝の会 (25日)
- *地域活動支援センターつばさ 夕日かがやき事業WRAP (14日)
- おしゃべりナイト (19日)
- 健康吹き矢 (21日)
- *生活介護事業この里 納め会

万葉の秋

生活介護事業この里 室内ゲーム大会

R1.12.6



はばたけ!!
サンサンゆめまつり
R1.10.20



ランチdeビュッフェ
R1.12.24



太陽・はばたき忘年会
R1.12.18



祝 歯ミカッポ施設大賞

令和元年10月17日(木)、くにたち市民体育館で開催された第13回歯ミカッポで、20施設の応募の中から、「生活介護事業太陽」が見事!初めて!!施設大賞を受賞しました。

歯ミカッポとは歯磨きワールドカップの略で、障害者の歯と口の健康づくりを地域で考え発信する集いです。13年前から多摩立川保健所を中心に歯科医師会の協力を得て、武蔵村山・東大和・昭島・立川・国立・国分寺の6市で順番に開催されています。施設大賞の選考基準には、毎日歯磨きの時間を設けているか、特徴ある歯と口の健康づくりの取り組みをしているか等、7つの項目があります。

太陽には現在50名のご利用者がいらっしやいます。そのうち5名の方が歯ミカッポに参加されました。

太陽では、年に1回の歯科検診と、月に1回の歯科衛生士によるブラッシング指導を行っています。特にブラッシング指導では、一人ひとりのご利用者に合った歯ブラシや口腔ケア用品の相談をしたり、頬の緊張が強く仕上げ磨きの難しいご利用者のマッサージュ方法や指の入れ方等、具体的なコツを教わり、日々のケアに活かしています。

また、加齢に伴い、歯肉の炎症が出現し全身状態にも影響を及ぼす危険があることを教わり、フロス(糸ようじ)

や歯間ブラシを活用した口腔ケア方法を教わって、今後の口腔ケアのスキルアップを目指しています。

歯科衛生士よりいただいたアドバイスは職員間だけでなく、ご家族やグループホームにもお伝えし、チーム一体となってご利用者の口腔ケアが出来るよう心がけています。

こうした日頃の取組が評価され、今回の施設大賞をいただくことが出来たのだと思います。支えてくださった皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。

優勝カップや表彰状は歯ミカッポの写真と一緒に、センターの2階廊下に展示予定ですのでぜひご覧ください。受賞の喜びを励みに、今後も毎日の歯磨きの時間を大切に続けていきたいと思ひます。

国分寺市障害者センター

看護師 熊谷美麻



新成人を祝う会

令和2年、生活介護事業太陽では、2名の方が成人をむかえます。

今回、成人をむかえるお二人に、好きなことや、成人をむかえての目標についてインタビューをしました。

☆石間 雄一郎さん



外でのお仕事が好きで、特に段ボール回収やポストインクは楽しくお仕事しています。

どんなお仕事をした後でも、「疲れてないよ。」というほど、体力には自信があります。休みの日は、家族と電車で出かけるのが好きで、電車は西武線が一番のお気に入りです。

☆美濃羽ヴィクトリアさん



成人を迎えての目標
 ・自分の気持ちを人に伝える
 ・色々出かけ、やれることを増やしたい



☆万葉の里夏号より法人内の事業を順に紹介しております。今回は、生活介護事業太陽、生活介護事業この里、ショートステイえんじゅです。

生活介護事業 この里

「生活介護事業この里」は、“働く”ことを通して、自分らしい生活を創っていただきたいと思っています。

地域の一員として「生きがい」や「やりがい」を感じながら、自分の力が発揮できるよう、活動しています。

また、作業や余暇活動を行いながら、ご利用者同士の関係性を築き、毎日楽しく通所できる場所作りにも取り組んでいます。

仲間とつながる
地域とつながる
より豊かな生活の実現を
応援します！！

封筒の糊付けに、時間がかかるけれど、楽しいです！

イベントでいろいろなところに行けますよ～。



美味しい野菜を売っています！
ラーメンも美味しいですよ！

作業

封筒作成



ポスティング



野菜販売



余暇活動

お楽しみ活動（月1回）



ボーリング



電車に乗って外出

銭太鼓



創作の時間



スイミング



市民プールの建物前で

おかげさまで、開所してやっと1年半が経ちました。

まだまだ発展途中ではありますが、みんなで力を合わせて、築き上げていく楽しみを日々感じています！

(通所支援3課課長 加藤 由誇)

